

平成 31 年度用 移行期 新編 新しい算数 4 学年 年間指導計画略案

- ・「指導内容」欄にある●印は、特に重要な内容を示しています。 [発展] 印は、発展的な学習の内容を示しています。
- ・「学習指導要領」欄の A は数と計算，B は量と測定，C は図形，D は数量関係を示しています。

上巻		単元	指導 時数	ページ	指導内容	学習指導 要領	用語・記号
1 学期	1. 折れ線グラフと表	9	6~18	●折れ線グラフの読み方 ・伴って変わる2量の関係(関係の特徴) ・折れ線の傾きと変化の度合いの考察 ●折れ線グラフのかき方 ●折れ線グラフの読み取りと未測量の考察 ●棒グラフと折れ線グラフの合わせたグラフの読み取り ●資料を落ちや重なりがないように分類整理し、表にまとめること ●二次元表の表し方	D(1)(4)	折れ線グラフ	
		—	19	●既習内容の理解の確認	—		
	2. 角の大きさ	10	20~37	●回転による角の大きさの意味 ●角度の単位「度」, 1直角=90° の単位関係 ●分度器を使った角度のはかり方 ●対頂角の性質 ●分度器を使った角のかき方, 三角形のかき方 [発展] 360° より大きい回転による角	B(2)	度(°)	
		17	38~58	●何十, 何百を1位数でわる除法計算 ●2~3位数を1位数でわる除法と筆算形式 ●除法の意味の拡張(倍の計算) ●1位数でわる除法の暗算 [発展] 除法の筆算の拡張(除数が1位数)	A(3)	和, 差, 積, 商	
	☆おぼえているかな?	—	59	●既習内容の理解の確認	—		
	4. 垂直・平行と四角形	16	60~83	●直線の垂直, 平行の概念とひき方 ●平行線を活用してできる角の大きさの考察 ●台形, 平行四辺形, ひし形の概念, 性質 ●台形, 平行四辺形, ひし形のかき方 ●いろいろな四角形の対角線の性質 [発展] 対角線による四角形の考察	C(1)	垂直, 平行 台形, 平行四辺形, ひし形, 対角線	
		1	84~85	●図を活用し, 2量の差に着目して考える問題	D(2)		
	★そろばん	2	86~87	●大きい数や小数の珠の入れ方 ●そろばんによる簡単な小数の加減計算	A(7)		
	2 学期	5. 大きい数のしくみ	6	88~98	●億, 兆に及ぶ数の構成, 命数法と記数法 ●10倍, 1/10にした数の表し方 ●十進位取り記数法と十進数の意味 [発展] 兆より大きい数の単位 ●3位数どうしの乗法の筆算 ●末尾に0のある乗法の計算の工夫 [発展] エジプト数字の記数法	A(1)(4)	兆
			—	99	●既習内容の理解の確認	—	
6. わり算の筆算(2)		15	100~116, 移行期補助 教材 2~3	●何十でわる除法計算 ●2~3位数÷2位数, 3位数÷3位数の除法と筆算形式 ●仮商のたて方と修正の仕方 ●除法について成り立つ性質 ●末尾に0のある除法の計算の工夫 ●簡単な場合についての割合 [発展] 除法の筆算の拡張(除数が2~3位数)	A(3)(4)	割合	
		1	117	●コンパスを用いているいろいろな形をかく操作活動 [発展] 円周のおよその長さを調べる素地的活動	C(1)		
7. がい数の表し方	8	118~130	●概数の意味 ●四捨五入の意味と方法 ●概数処理の種々の表現方法 ●数の範囲の表し方 ●和, 差, 積, 商を概数で見積もること	A(2)	がい数, 四捨五入, 以上, 以下, 未満		

前期

1
学期

2
学期

	単元	指導 時数	ページ	指導内容	学習指導 要領	用語・記号
2 学期	8. 計算のきまり	8	2~10	<ul style="list-style-type: none"> ●()を用いた式の計算順序 ●四則混合の式の計算順序 ●分配, 交換, 結合法則の理解と活用 ●乗法について成り立つ性質 	D(2)(3)	
			126	【発展】 4この数でいろいろな式をつくる		
	☆おぼえているかな?	—	11	●既習内容の理解の確認	—	
	9. 面積のはかり方と表し方	12	12~29	<ul style="list-style-type: none"> ●面積の意味 ●面積の単位「平方センチメートル, 平方メートル, アール, ヘクタール, 平方キロメートル」 ●面積の単位と既習の単位との相互関係 ●長方形, 正方形の面積公式 ●複合図形の面積の求め方 	B(1) D(2)	面積, cm ² , m ² , km ² , a, ha
			127	【発展】 工夫して面積を求める問題		
	10. 小数のしくみ	13	30~45	<ul style="list-style-type: none"> ●小数の位取りの原理, 小数の構成 ●小数を用いた数量の単名数表示の仕方 ●小数の順序, 大小関係, 相対的な大きさ ●小数も整数と同じ十進構造になっていること ●小数を10倍, 1/10にしたときの数の表し方 ●小数の加減計算と筆算形式(小数第二位以下) 	A(5)	1/100の位, 1/1000の位, 小数第二位, 小数第三位
	11. 変わり方調べ	5	46~52	●2つの数量の対応関係を表に表したり, □や○を用いて式に表したりすること	D(2)	
			128	【発展】 2つの数量の関係を折れ線グラフに表すこと		
	☆おぼえているかな?	—	53	●既習内容の理解の確認	—	
	12. 小数のかけ算とわり算	16	54~70, 移行期補助教材 4~6, 73~74 (教科書 71~72 は使用しない)	<ul style="list-style-type: none"> ●小数に整数をかける乗法と筆算形式 【発展】 表で比例関係を調べる素地的活動 ●小数を整数でわる除法と筆算形式 ●余りがある場合の余りの小数点の位置 ●わり進みのある除法計算 ●小数の意味の拡張(帯小数倍, 純小数倍) 	A(5)	
☆おぼえているかな?	—	75	●既習内容の理解の確認	—		
★どんな計算になるのかな?	1	76~77	●加減乗除についての演算決定	A(3)(5)		
3 学期	13. 分数	9	78~89	<ul style="list-style-type: none"> ●真分数, 仮分数, 帯分数の概念, 構成 ●数直線を基にした仮分数や帯分数の構成と相互の関係 ●分数の相等関係と大小比較 ●同分母分数の加減計算 	A(6)	真分数, 仮分数, 帯分数
	14. 直方体と立方体	9	90~102	<ul style="list-style-type: none"> ●直方体, 立方体の概念, 特徴, 性質 ●展開図, 見取図の意味とかき方 ●直方体, 立方体の面や辺の位置関係(垂直, 平行) ●平面上や空間内の点の位置の表し方 	C(2)(3)	直方体, 立方体, 平面, 展開図, 見取図
			129	【発展】 立方体の展開図の種類		
	★かたちであそぼう	1	103	●デジタル数字を用いた対称の素地的活動	C(1)	
	★考える力をのばそう	1	104~105	●2つの数量の共通部分に対応・消去し, 数量の関係を単純化してとらえる問題	D(2)	
	★4年のふくしゅう	3	106~110 ※必要に応じて移行期補助教材 7~8	●4学年の学習内容の総復習	A~D	
	★算数おもしろ旅行	2	111~114	●和算, クイズ・パズルなどを通して, 算数に対する興味を広めること	A(4) C(1) D(2)	

年間の総時数	2学期制: 前期 85 + 後期 80 = 165	予備時数
標準時数 175 時間	3学期制: 1学期 55 + 2学期 68 + 3学期 42 = 165	10 時間